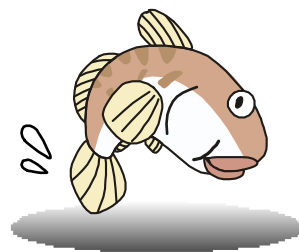


～宍道湖・中海 水質情報～

きすい 輝水だより (第106号)



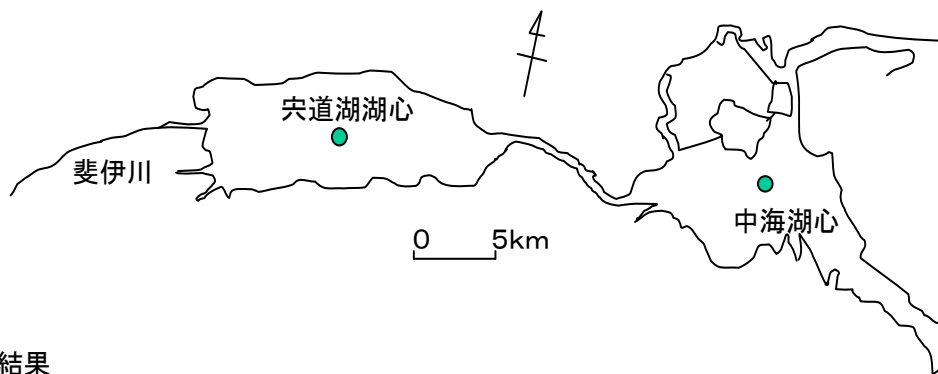
平成18年11月発行

[お問い合わせ先] 島根県環境生活部環境政策課

水環境グループ(電話:0852-22-5562)

平成18年10月の宍道湖・中海の水質状況について、島根県が実施した調査結果の速報値をお知らせします。

1. 調査地点



2. 調査結果

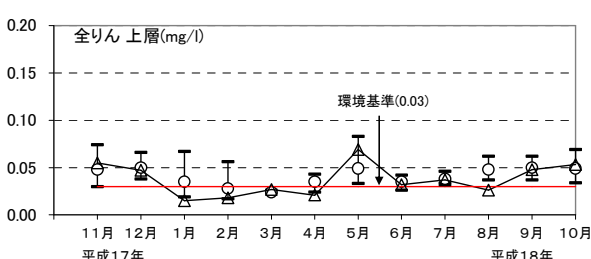
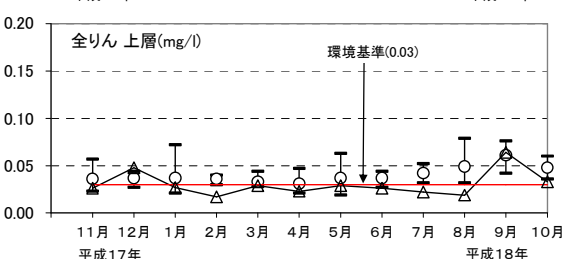
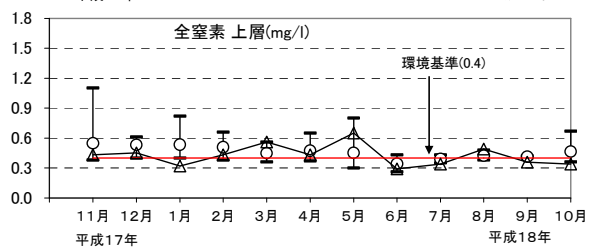
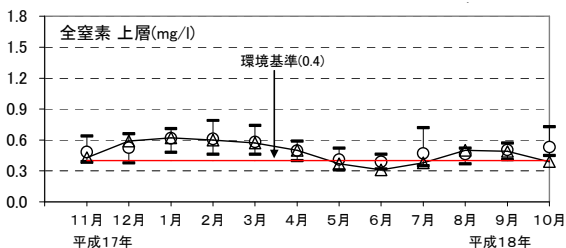
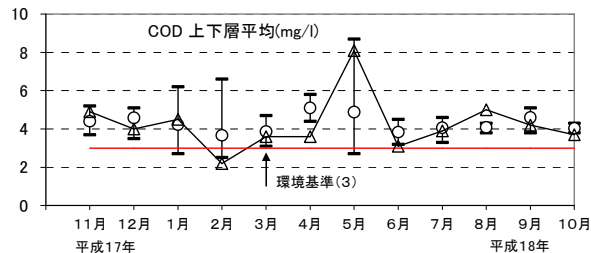
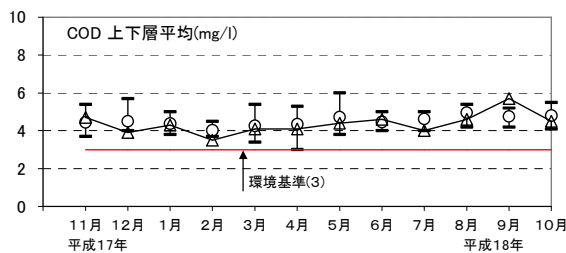
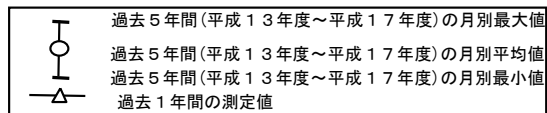
- (1) 宍道湖湖心では、過去5年間（平成13年度～17年度）の同月と比べると、COD（化学的酸素要求量）は平均値より低く、全窒素、全りんは5年間で最も低い濃度でした。
- (2) 中海湖心では、過去5年間の同月と比べると、COD、全窒素は最も低く、全りんは平均値より高い濃度でした。

項目	単位	環境基準 (湖沼AⅢ類型)	宍道湖 (湖心)			中海 (湖心)			[参考]*平成17年度平均	
			8月	9月	10月	8月	9月	10月	宍道湖 (湖心)	中海 (湖心)
水温(上層)	°C	—	27.5	25.2	21.8	28.8	24.5	21.8	—	—
pH(上層)	—	6.5～8.5	8.1	8.7	8.0	9.0	8.5	8.4	—	—
COD(全層平均)	mg/l	3以下	4.6	5.7	4.5	5.0	4.2	3.7	4.4	3.8
SS(上層)	mg/l	5以下	3	3	2	5	2	2	5	3
DO(上層)	mg/l	7.5以上	7.7	8.0	8.7	9.4	8.4	8.4	9.8	9.7
DO(下層)	mg/l	7.5以上	7.7	2.5	4.0	2.8	0.1	3.4	8.0	4.8
全窒素(上層)	mg/l	0.4以下	0.50	0.49	0.39	0.49	0.36	0.34	0.55	0.42
全りん(上層)	mg/l	0.03以下	0.019	0.064	0.033	0.026	0.048	0.053	0.036	0.034
Cl(上層)	mg/l	—	450	860	1000	1600	9200	9300	2400	9000
Cl(下層)	mg/l	—	470	1500	1700	16000	15000	16000	2800	15000
クロロフィルa(上層)	μg/l	—	10	23	20	19	9.0	6.9	18	11

*平成17年度公共用水域水質測定結果より

✓ 輝水だよりはホームページでもご覧いただくことができます。(他にもいろいろな情報満載！)

http://www.pref.shimane.lg.jp/life/kankyo/kankyo/shinjiko_nakaumi/



突道湖湖心における各水質の月変動

中海湖心における各水質の月変動

[水質の用語]

- pH 水の酸性、アルカリ性を示します。pHが7のときは中性、これより数値が高い場合は、アルカリ性、低い場合は酸性です。海水は8.2、河川水は7前後です。また、植物プランクトンが大量に発生すると上昇します。
- COD 化学的酸素要求量の略称です。湖水の中の有機物による汚れを示す指標です。数値が大きいほど有機物による汚れが大きいことを示します。
- SS 水中に漂っているゴミやプランクトンの量を示します。
- DO 水に溶けている酸素の量を示します、水に溶け込むことのできる量は温度によって異なり、温度が低いほどよく溶けます。
- 全窒素 水中の窒素の量を示します。全りんとともにプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- 全りん 水中のりんの量を示します。全窒素とともにプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- クロロフィル a 植物プランクトンに含まれる葉緑素(クロロフィル a)の量を示します。この量が多いほど、植物プランクトンが多いことを示します。
- Cl 海水の割合を示す指標です。数値が大きいほど海水が多く混合しています。海水の塩素イオン濃度(Cl)は約19000mg/lです。